

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

なくてはならない器材・サービスを創出し世界の発展に貢献する

売上高
575億円

営業利益
15億円

2 中長期の経営戦略

1. 構造改革の完遂

アウトセルタッチセンサー事業終息と有機ELディスプレイ自社生産終了を実施し、事業基盤の効率化と新価値創造を推進

3. 生産器材事業強化

射出成形AIシステムをリリース。アジア地域でセンシングスクール開講し、ハードウェアからソフトウェア・サービスへ事業拡大

2. ソリューション事業展開

産業用ラジコン機器は建設機械・農業機械向けに無線リモコンを提案。ロボティクスはドローンと産業用サーボFAで拡販

4. コーポレート機能強靱化

マネジメント研修、後継者育成、人事制度改定を実施。全社基幹システム刷新とAI業務効率化、リスク管理を推進

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・戦争の長期化やエネルギー・原材料価格高止まりへの対応
- ・米国関税政策影響の検証と複数ケース想定の実施
- ・地政学的リスクと国際情勢の変動への臨機応変対応

② 成長軌道への変革

- ・市場環境や顧客ニーズへの対応強化が課題
- ・経営資源配分と具体的戦略の見直し推進
- ・計画の実行力向上

③ サプライチェーン最適化

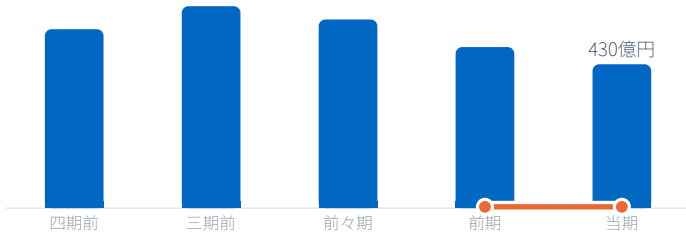
- ・部材高騰と部品供給体制のBCP検討
- ・中国から台湾等への生産移管と米国生産回帰
- ・為替変動リスクへの対応

面で使えるポイント

- ・Futaba Way と本質之直視に基づき、AIやIoT技術を取り込んだモノづくり進化に注力している企業
- ・2027年度に売上高575億円、営業利益15億円を目標に、ソリューション事業領域拡大と構造改革を推進中
- ・産業用無線リモコン、ドローン、産業用サーボなど、市場ニーズが高い製品開発と海外展開に力を入れている

証券コード 6986

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

電子部品・電子機器・生産器材の設計、開発

主力事業・セグメント

・電気機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・平均勤続20.5年と定着率が高い

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
430億円営業利益率
▲5.3%財務健康度
50点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 46.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
606万円

電気機器内 179位/225社

平均年齢
43.9歳

電気機器内 94位/225社

平均勤続
20.5年

電気機器内 19位/225社

女性管理職
0.8%

電気機器内 175位/182社

男性育休
90.9%

電気機器内 57位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:【双葉電子工業】Japan Drone 2026に出展しま

